HEADRUSH MX5

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

- ▲ このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
- 🕂 このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。
 - 7 このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

- 1. 注意事項を必ずお読みください。
- 2. 注意事項を必ずお守りください。
- 3. すべての警告に従ってください。
- 4. すべての注意事項に従ってください。
- 5. 水の近くで使用しないでください。
- お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントバネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
- 7. 取扱説明書に従って設置してください。
- 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
- 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレ ードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差 込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
- 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込 口、本装置の出力部分に注意してください。
- 11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
- 12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
- 13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
- 14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷した とき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常 に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
- 15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺楓器とは最低15センチ離し、風通しの良い 場所でご利用ください。
- 16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
- 17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れが あります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
- 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを 本装置の上に置かないでください。
- 19. 警告:火災や感電防止のため、雨や温気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接 地してご使用ください。

製品保証規定

- 1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
- 2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないように大切に保管してください。
- 3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
- 4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (二) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (へ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を 含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- 7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
- 8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部 東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階 [Web] inmusicbrands.jp [サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

同梱物

HeadRush MX5 本体

USB ケーブル

1/8" (3.5mm) 5 ピン MIDI アダプターx2

AC アダプター

ソフトウェア・ダウンロードカード

クイックスタートガイド/保証書(本書)

重要: 完全版ユーザーガイドは headrushfx.com よりダウンロードしてください。

サポート

この製品に関する最新情報(マニュアル、技術仕様、動作必要要件、互換性情報)、製品 登録については、**headrushfx.jp** をご覧ください。

その他、製品に関するサポートについては、**headrushfx.com/support** からお問い合わ せください。

機能

トップパネル



- ディスプレイ:フルカラー・マルチタッチディスプレイは HeadRush MX5 で使用中の操作に関する情報を表示します。ディスプレイをタッチ(ハードウェア・コントロール)を使用してインターフェースをコントロールすることができます。どのように動作するかについては基本操作をご参照ください。
- 2. Main ボリューム:出力ボリュームの調整を行ないます。
- エンコーダー:使用可能なメニューオプションをスクロールしたり、ディスプレイ内の選択したフィールドのパラメータ値を調整することができます。エンコーダーを押すことで選択した内容を確定させることができます。
- フットスイッチ・インジケーター: 各フットスイッチに割り当てられたストンプ、 リグまたはシーンが ON(明るく点灯)、または OFF(薄暗く点灯)であることを表 示します。
- 5. **フットスイッチ**:フットスイッチを押し、アサインしたモデルやシーンの ON/OFF を 切り替えたり、アサインしたリグをロードすることができます。
- エクスプレッションペダル:このペダルを使用して、アサインしたパラメータを調 整することができます。詳しくは基本操作 > ハードウェア・アサイン > エクスプレ ッションペダルをご参照ください。

リアパネル



- 1. **ギター入力** (1/4"/6.35 mm、mono) :標準のインストゥルメント・ケーブルを使用 してギターを接続してください。
- エクスプレッションペダル入力(1/4"/6.35 mm、TRS):オプションのセカンダリ ー・エクスプレッションペダルを標準のインストゥルメント・ケーブルを使用して接続 してください。
- 3. **センド出力(**1/4"/6.35 mm, Stereo):これらの出力を別のエフェクトモジュール、エフェクトペダル、アンプのエフェクトループ・リターンの入力に接続してください。
- リターン入力(1/4"/6.35 mm, Stereo):これらの入力を別のエフェクトモジュール、 エフェクトペダル、アンプのエフェクトループ・センドの入力に接続してください。
 注意:FX リターン入力で受信する信号は、Global Settings Menu でラックレベル またはストンプレベル(デフォルト)に設定することができます。
- 5. **出力**(1/4"/6.35 mm、バランス): アンプやオーディオインターフェース等の入力に 接続してください。1つの出力のみを使用する場合は、LEFT (MONO) と印字されて いる出力を使用してください。

注意:出力する信号は、Global Settings Menu でアンプレベルまたはラインレベル(デフォルト)に設定することができます。

- 6. **ヘッドホン出力**(1/8"/3.5 mm, Stereo) :標準の 1/8"(3.5 mm)ステレオ・ヘッド ホンをこの端子に接続してください。
- AUX 入力(1/8"/3.5 mm、Stereo): 外部機器からのオーディオソース(スマートフォン、タブレットなど)の出力を1/8"(3.5 mm)ステレオケーブルを使用して接続してください。
- 8. **MIDI 出力** (1/8"/3.5 mm):付属の 1/8" (3.5mm)5 ピン MIDI アダプターと別売り の標準 MIDI ケーブル(付属していません)を使用して、この出力から外部 MIDI デバイ スの MIDI 入力に接続してください。
- MIDI 入力 (1/8"/3.5 mm): 付属の 1/8" (3.5mm) 5 ピン MIDI アダプターと別売り の標準 MIDI ケーブル(付属していません)を使用して、この入力から外部 MIDI デバイ スの MID 出力に接続してください。

重要:MIDI 入力/出力にオーディオデバイス(ヘッドホン、モニターなど)を接続す ることは絶対におやめください。MIDI 入力/出力に5 ピン MIDI ケーブルで接続でき るのは MIDI デバイスのみです。

- USB ポート:標準の USB ケーブルを使用し、このポートとコンピュータを接続します。この接続により、HeadRush MX5 とコンピュータの間でデジタル・オーディオ 信号を送受信できるようになります。また、この接続では、リグ、モデルプリセット、セッティングリスト、インパルスレスポンス(IR)ファイルをインポート/エク スポートすることもできるようになります。
- 11. **電源入力:**同梱の AC アダプターを使用してこの入力をコンセントに接続してください。
- 12. **電源スイッチ:**このボタンを押して HeadRush MX5 の電源を ON にします。電源 を OFF にするには、このボタンを長押ししてください。
- 13. 通気口: HeadRush MX5 を使用中、この通気口を塞がないようご注意ください。.

セットアップ

はじめに > 同梱品に掲載されていないものは別売りです。

重要:出力の信号は、Global Settings Menu で用途に適したレベルに設定してください。 例:従来のギターアンプを使用する際にはアンプレベル、フルレンジ・フラットレスポン スアンプ、ミキサー、PA スピーカー、オーディオインターフェースを使用する際はライ ンレベル(デフォルト)に設定します。



基本操作

この章では、HeadRush MX5 の基本的な機能について説明します。その他の機能については、headrushfx.jp よりユーザーガイドをダウンロードしてください。

メインスクリーン



重要:シグナルチェインのモデルの配列は必ずしもフットスイッチに反映されている訳ではあ りません。モデルは、シグナルチェインを変更することなく、使用可能なフットスイッチに自 由に割り当てることができます。詳しくは、**ハードウェア・アサイン**をご参照ください。

モデル (amp、cab、impulse response、effect)を空のスロットにアサ インするには (+) をタップして表示されるリストを使用してください。 詳しくはリグ > 新しいリグの作成をご参照ください。

シグナルチェイン内のモデルを置き換えるには、モデルをタップして別の スロット、またはほかの 2 つのモデル間でドラッグしてください(その位 置の後ろにあるものは、シグナルチェインの 1 つ下のスロットに移動され ます)。

モデルの ON/OFF を切り替えるには、アサインした**フットスイッチ**を押 すか、モデルをタップして、右上に現れる **ON/OFF** ボタンをタップします。

モデルのセッティング画面を表示するには、そのモデルをダブルタップしてください。 **別のリグ(プリセット)をロードする**には:

- 画面上のリグ名をタップし、エンコーダーを回して任意のリグを選択する
- Stomp モード使用中の場合は、フットスイッチ1と2(▽)もしくは2と3(△)を同時 に押し、任意のリグを選択する
- Rig モード使用中の場合は、 プリセットをアサインしたフットスイッチを押す
- Hybrid モード使用中の場合は、Prev Rig もしくは Next Rig をアサインしたフット スイッチを押す

他のオプションを表示するには、右上の「•••」ボタンをタップしてください。



ON

NEXT

HEADRUSH

フットスイッチモード

フットスイッチを使用すれば、モデル(amp、cab、 impulse response、effect)の ON/OFF 切り替えや、 シーン、リグ、セットリストの選択をすることができ ます。フットスイッチは、常に Stomp、Rig、 Hybrid、Setlist のいずれかのモードに設定された状 態になっています。

モードを変更するには、フットスイッチ1を

一度長押しして離してから以下のいずれかを行います

- Stomp モードを選択するには、フットスイッチ1を押します
- Rig モードを選択するには、フットスイッチ2を押します
- Hybrid モードを選択するには、フットスイッチ3を押します
- Setlist モードを選択するには、フットスイッチ2を長押しします

Stomp モード

JRC-OD FILTER DOUBLER このモードでは、フットスイッチ1~3が シグナルチェインのモデル (amp、cab、effect) に 対応します。フットスイッチを押すと、モデルの ON/OFF 1つ前のリグをロードするには、フットスイッチ1と2()

1つ次のリグをロードするには、フットスイッチ2と3(△)を同時に押します。

Riaモード

このモードでは、フットスイッチ1~3が 保存したリグに対応します。

フットスイッチを押すと、リグをロードすることができます。

1つ前のバンク内の3つのリグを表示するには、フットスイッチ] と 2 (▽)を同時に押します。 1つ次のバンク内の3つのリグを表示するには、フットスイッチ2と3(△)を同時に押します。

Hvbrid モード

フットスイッチ1を使用すれば、

モデルの ON/OFF や現在のリグのシーンを切り替るこ とができます。

1つ前のリグに切り替えるには、フットスイッチ2を押します。

1つ次のリグに切り替えるには、フットスイッチ3を押します。

Setlist モード

現在表示されているセットリストを選択するには、 フットスイッチ1を押します。

1つ前のセットリストを表示するには、フットスイッチ2を押します。

1つ次のセットリストを表示するには、フットスイッチ3を押します。

All Rigs セットリストを選択するには、 フットスイッチ1を長押しします。

を切り替えるこ	とができます。
▽)を同時に押し	ます。
	+ +

CRUNCH R... CLEANER

LEAD RIG

CLEAN RIGS

PREV RIG JRC-OD NEXT RIG

PREV





リグ

MX5 での**リグ**とはプリセットであり、アサインした**モデル**(amp、cab、impulse response、effect)の組み合わせです。リグにはそれぞれのパラメータ設定が含まれていま す。リグは作成、編集、保存、ロードすることができ、リグを使用すればパフォーマンスの各 パートでの使用に完璧なサウンドを簡単に呼び出すことができます。 各リグには11**スロット**が用意されており、それぞれに1つのモデル(amp、cab、effect)を

各リクには「「**スロット**が用意されてあり、それそれに「うのモデル(amp、cab、effect)を アサインすることができます。アサインされたスロットにはモデルのグラフィックが表示され、 空のスロットには「**+**」マークが表示されます。

新しいリグを作成する

新しいリグを作成するには、画面右上の「●●●」をタップし、New Rig をタップします

モデル (amp、cab、effect)を 空のスロットにアサインする:

- 1. 空のスロットの「+」マークをタップします。
- モデルとエフェクトの種類のリストが表示されます。Amp/Cab/IR (impulse response)の中からアサインしたいモデルの種類をタップして選択するか、Distortion、Dynamics/EQ、Modulation、Reverb/Delay、FX-Loop、Expressionの中からアサインしたいエフェクトの種類をタップして選択します。
- 選択したモデルの種類で使用可能なモデルのリストが表示されます。アサインするモデルをタップして選択します。
- プリセットのリストが表示されます。アサインす るモデルをタップして選択します。アサインした モデルにロードするプリセットをタップして選択 します。



4	LIST SELECTOR	
< ВАСК	< ВАСК	< ВАСК
EMPTY SLOT ×	MULTI CHORUS	+DEFAULT MONO
AMP	CHORUS	+DEFAULT STE
САВ	FLANGER	+DEFAULT SYNC
DISTORTION	VIBRATO	MN SLOW
DYNAMICS/EQ	ROTARY	MN TRILL
MODULATION >	AIR FILTER	ST CHOPPER
REVERB DELAY	AIR ELANGER	тнацте

隣接するスロットが空いているスロットに amp または cab をロードすると、選択したものと元々 セットになっている amp または cab がもう一方のスロットにも自動的にロードされます。その後、 シグナルチェインでシグナルを分割したり、amp または cab の種類を変更したり、各モデルを個 別に削除したりすることができます。

シグナルチェインの最適化

シグナルチェインとは、ギターからのオーディオシグナルが選択したモデルを通り、MX5 から 出力されるまでのオーディオ信号の経路です。タッチスクリーンを使用して選択したモデルをお 好みの順序に並べ替えることができます。組み合わせによっては、一部の構成がその他の構成よ り一番音が優れていることもあります。

MX5 で素晴らしいリグを作成するための一般的なモデルの配置をいくつか紹介致します。

- ダイナミクス(compressor など)、フィルター(wah や pitchshifter など)、 volume ペダルは一般的にシグナルチェインの最初に配置します。またはシグナルチェインの最後に volume ペダルを置くことでシグナルチェインの機能にわずかな変化を与える ことができます。
- 一般的に、上記の配置の次に歪系、ブースター等のエフェクト(overdrive/distortion、 fuzz など)を接続します。

- イコライザー(EQ)は、一般的に overdrive/distortion、fuzz の次に配置し、トーンを 整える役割として機能します。また、ギターのトーンの不要部分をカットするために歪系、 ブースター等ペダルの前に配置する場合もあります。
- 一般的に、上記の配置の次には flanger、phaser、chorus などのモジュレーション・エフェクトを配置します。
- delay、reverbなどの空間系エフェクトは、一般的にシグナルチェインの後ろの方に配置 します。
- amp と cab は、シグナルチェインの最後に配置するのが一般的ですが、どこにでも配置 することができます。

リグの保存

ロードしたリグに変更を加えた場合、画面上部にアスタリスク(★)が表示され、リグに何らかの 変更が加えられたことを示します。リグに加えた変更点は、そのリグに上書き保存することも、 別のリグとして保存することも、変更点を保存せずに終了することもできます。

リグを保存するには、画面右上の"Save"をタップします。 現在のリグに加えた変更点を上書き保存するには、



"**Save**"をタップします。

変更点加えたリグを新しいリグとして保存するには、"Save New Rig"をタップし、

表示されたキーボードを使用して名称を入力し、"Save"をタップします。

保存せずに前の画面に戻るには、"Cancel"をタップします。

リグに加えた変更点を破棄するには、画面右上の「•••」をタップし、

"Discard Changes"をタップします。

セッティングの調整

リグ内のモデルのセッティングを調整するには、ダブルタップで設定画面を開きます



プリセットの保存

プリセットを保存するには画面右上の"Save"をタップします。 現在のプリセットに加えた変更点を上書き保存するには、 CANCEL SAVE NEW SAVE

"Save"をタップします。

変更点を加えたプリセットを新しいプリセットとして保存するには、"Save New Rig"をタップ し、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、"Save"をタップします。

保存せずに前の画面に戻るには、"Cancel"をタップします。

ハードウェア・アサイン

ハードウェア・アサイン画面では、MX5 のフット スイッチ、エクスプレッションペダルで各リグをど のようにコントロールするかをカスタマイズするこ とができます。

ハードウェア・アサイン画面を開くには、メイン画 面の右上隅にある「●●●」ボタンをタップし、 "Hardware Assign"をタップします。

メイン画面に戻るには、左上隅の **ヘ** ボタンを タップします。

重要:ハードウェア・アサインの設定はリグの設定 の一部です。必要な変更点は忘れずに保存しておい てください。



リグに設定されたカラーを変更するには、画面の左上をタップします。このカラーは、使用可 能なすべてのリグのリストを表示する時、またはセッティングリストを表示して作成する時にリ グ名の隣に表示されます。Rig モードを使用中は、対応するフットスイッチ・インジケーターの カラーにもなります。

リグのタイムベースのエフェクト(delay、modulation など)のテンポを設定するには、 **Tempo**下のボタンをタップして"**Current**"または"**Fixed**"から選択します。

- Current:最後に使用したテンポ、またはフットスイッチで設定したテンポを使用します。
 テンポを設定するには、Tempoの下のボタンテンポでフットスイッチを 3~8回 押すと、希望の新しいテンポが BPM(拍数)で設定されます。
- Fixed:リグで設定しているテンポを使用します。

テンポを設定するには、エンコーダーを回して希望のテンポを BPM (拍数) で設定す ることができます。エンコーダーを回して正確なテンポ (BPM) の設定を行うのが可能 なのは、このハードウェア・アサイン画面でのみです。

外部 MIDI デバイスから MIDI プログラムチェンジを受信したときにリグをロードしたり、**リグ** ロード時に MIDI プログラムチェンジメッセージを送信したりするには、MIDI PROG 下のボタ ンをタップし、エンコーダーを回して MIDI プログラムチェンジナンバーを選択します。

MIDI プログラムチェンジメッセージ送受信の設定の変更は、Global Settings メニューで行う ことができます。

注意:プログラムチェンジナンバーをアサインしたリグがある場合、そのプログラムチェンジナ ンバーは他のリグに使用したり、アサインすることはできません。また、変更点を加えたリグを 新しい名前で保存する際も、変更点を加える前のリグにアサインしたものと同じプログラムチェ ンジナンバーは保存されません。

フットスイッチ

画面左下の3つのボックスは、MX5の3つのフットスイッチを表しています。シグナルチェイン内の位置に関わらず、お好きなフットスイッチに任意のスイッチベースのパラメーター(2種類の状態のみを持つもの)を割り当てることができます。

フットスイッチにパラメータをアサインする

- ボックスをタップします。「+」マークの付い たボックスは空のボックスです。
- 表示されたリストからアサインしたいモデルの パラメーターをタップします。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいパ ラメーターをタップします。通常、パラメータ は ON になります(ON/OFF の切り替えが可 能)。

< BACK		K BACK
UNASSIGNED	×	ON
VOLUME	>	
PARA EQ	>	
DYNIII COMP	>	
DROP TUNE	>	
SHINE WAH	>	
GREEN JRC-OD	>	

アサインを解除するには、"**Unassigned X**"を タップします。

2箇所のアサインを入れ替えるには、アサインの 1 つをタップし、もう1つのアサインの上に ドラッグした後に手を離します。

シーン

シーン機能を使用すると、各リグ内で複数のモデルの ON/OFF を同時に切り替えたり、さまざ まなモデルプリセットを選択することができます。そのシーンにアサインしたフットスイッチを 押すと、アサインの設定によりそのシーンに含まれるすべてのモデルが ON または OFF になる か、別のプリセットに変更されます。

シーン機能は、同じリグで複数のトーンを作成できる優れた機能です。例えば、特定のディスト ーションモデルが ON になっている際にリバーブモデルを自動で同時に ON の状態にしたり、特 定の ディレイモデルを OFF にしたら別モデルが ON になるような設定を使用することも、シー ン機能を使用すればフットスイッチ1つで行うことができます。

シーンの作成と編集

- ハードウェア・アサイン画面で、 Toggle/Scene をタップして目的のフット スイッチを選択し、使用可能なオプションを 選択し、シーンを選択します。
- そのモデルで Edit をタップします。シーン・ エディタが表示され、リグのすべてのモデルが 表示されます。
- リグの各モデル内のテキストの最初の行を タップして使用可能なオプションを確認します。
 - On:シーンを ON にすると ON になります。
 - Off:シーンをONにするとOFFになります。
 - No Change:シーンを ON にしても影響 を受けません。

4	SCENE: VERSE									
	VOLI NO CH	J ME ANGE	PAR/	A EQ F	DYI CO OI	NIII MP FF	DR TU NO CH	OP NE	SHI W/ NO CH	
	NO PR	ESET	NO PR	ESET	NO PR		NO PF	RESET	NO PR	ESET
GRI JRC NO CH	EEN -OD IANGE	A FIL	IR TER IANGE	ORA PHA	NGE SER FF		MP HANGE		AB IANGE	STEREO DOUBLER OFF
TAS	TΥ	NO PE	RESET	NO PI	RESET	NO P	RESET	NO PI	RESET	NO PRESET
d scene: solo										
◄	SCEI	NE: S	OLO							
		NE: S JME ANGE	OLO PAR/	A EQ	DYI CO	NIII MP N	DR TU NO CH	OP NE	SHI W/	
4	VOLI NO CH	NE: S Jme ange eset	OLO PAR/ O NO PR	A EQ N	DYI CO O NO PF	NIII MP N	DR TU NO CH	OP NE IANGE RESET	SHI W/ NO CH	INE AH IESET
		NE: S JME ANGE ESET A FIL NO CH	PAR/ PAR/ O NO PR	A EQ N ESET ORA PHA		NIII MP N EESET	DR TU NO CH NO PF	OP NE IANGE RESET	SHI W/ NO CH NO PR	NE AH ieset DOUBLER ON

- リグ内のモデルごとに、テキストの2行目をタップして、シーンがアクティブ化されたときにロードされるモデルプリセットを構成します。
- 5. 画面下にある色をタップして、シーンの色を選択します。
- 6. **ハードウェア・アサイン**画面に戻るには、画面左上の

 「ボタンをタップします。

シーン(フットスイッチのインジケータに表示されています)の名前を変更するには、モデル上の Edit の下のボックスのシーン名のテキストをタップし、表示されたソフトキーボードを使って新 しい名前を入力し、テキストフィールド以外をタップして完了です。

エクスプレッションペダル

エクスプレッションペダルのトウスイッチを使用すれば、エクスプレッションペダル A または B を 切り替えることができます。トゥースイッチを動作させるには、エクスプレッションペダルを踏ん でつま先側に倒し、そこからさらにつま先側に踏み込みます。エクスプレッションペダルを使用する と、2 つのパラメーター(クラシックモード)または 2 つのパラメーターセット(アドバンスモー ド)をコントロールできます。

注意:リグを保存すると、現在選択されているエクスプレッションペダルの状態(A また は B)も保存され、リグを再びロードしたときに呼び出されます。

4 つのボックスの列は、エクスプレッション・ペダルの設定を表します。 エクスプレッション・ペダルには、1 つ、または複数の連続的に調整が可能 なパラメーター(値の範囲を持つもの)をアサインすることができます。

エクスプレッション・ペダルのモードを設定するには、画面右上の RANGE の上にあるボタンをタップして Classic または Advanced を選択します。

- Classic: 各エクスプレッション・ペダル(A/B)に1つのパ ラメーターをアサインすることができます。トゥースイッチ を使用すると他のエクスプレッション・ペダルが選択され、 現在のエクスプレッション・ペダルのパラメーターが無効(バ イパス)になります。例えば、エクスプレッション・ペダル A にワウペダル、エクスプレッション・ペダル B にボリューム ペダルをアサインした場合、そのうち、1つだけが有効にな ります。ワウペダルをコントロールしているときは、ボリュ ームペダルはバイパスされ、その反対も同じです。
- Advanced: 各エクスプレッション・ペダル(A/B)に最大4 種類のパラメーターをアサインすることができます。ペダル を動かすとアサインされたすべてのパラメーターが同時に調 整されます。トゥースイッチを使用すると、他のエクスプレ ッション・ペダルが選択され、現在のペダルのパラメーター はアクティブのまま最大値になります。

エクスプレッション・ペダルにパラメーターをアサインする

- 1. **Assign** ボタンが ON になっていない場合はタップします。
- Assign ボタンの下のボックスをタップします。「+」マークの付いた ボックスは空のボックスです。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいモデルのパラメーターを タップします。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップします。

アサインを解除するには、"Unassigned X"をタップします。

アドバンスモードで2箇所のアサインを入れ替えるには、アサインの1つを タップし、もう1つのアサインの上にドラッグした後に手を離します。

アサインしたパラメーターの範囲を設定する

- 1. Range ボタンが ON でない場合、タップして ON にします。
- 2. Range ボタンの下の値をタップします。
- エンコーダーを回して希望の値をパーセンテージで設定し、エン コーダーを押して値を確定します。







MODE A	DVANCED				
ASSIGN	RANGE				
PEL	PEDAL				
LEVEL					
GAIN					
+					

セットリスト

セットリストを使用すると、リグを整理することができます。セットリストは、保存して後で呼び 出す事のできるリグを保存したコレクションです。これはパフォーマンスのためにリグの一部が必要 な場合などに便利です。これらの使用するリグだけのセットリストを保存可能なので、次の曲を演奏 する前に使用するリグを検索する時間が必要なくなります。

セットリストを表示するには、メイン画面の左上隅にある「=」ボタンをタップします。

セットリスト画面が表示されます。メイン画面に戻るには、左上の</br>

セットリストの作成

1. 右上の New をタップします。

表示された画面の左半分は、すべての利用可能 なリグのリストです。

右半分は、セットリスト内のリグのリストです。

リグをセットリストに加えるには、ご希望のリ グをタップしてリストの最後に加えます。また、 リグをタップ&ホールドして、リスト内の目的 の場所にドラッグします。同じリグを複数回セ ットリストに追加することもできます。左上の [**Empty+**]リグは、セットリストを簡単に並べ 替えるためのプレースホルダーとして使用する ためのスロットです。セットリストのリグを移 動させるときは、選択可能なリグとして使用す ることはできません。

d GIG 7/3	SAVE	••••
SEARING LEAD	EPIC	\times
EPIC	SEARING LEAD	×
HEAVY FUNK	BIG RIG	×
BIG RIG	ECHO CHAMBER	\times
ECHO CHAMBER	ULTRA-WIDE	×
INTERSTELLAR	EPIC	\times
ULTRA-WIDE	INTERSTELLAR	×
[EMPTY] +	BIG RIG	×

セットリストを並べ替えるには、右半分のリストでリグをタップ&ホールドしてリスト内の目的の位置にドラッグします。

リグをセットリストから削除するには、右端の「×」マークをタップします。

セットリストを保存するには、右上にある Save を タップします。



変更した内容を新しいセットリストとして保存するには、Save New Setlist をタップし、 表示されたキーボードを使用して新しい名称を入力し Save をタップします。

保存せずに前の画面に戻るには、Cancel をタップします。

セットリストに加えた変更を破棄するには、左上の⊲ ボタンをタップし、**Discard Change** をタップします。

セットリストをロードする

- メイン画面を表示し、左上隅の「■」ボタンを タップしてセットリスト画面を表示します。各 セットリストには、リグ数がカッコ内に表示さ れます(同じリグの複数インスタンスを含む)。
- 目的のセットリストをタップすると、最初のリ グがすぐにロードされます。 All Rigs をタップ すると、特定のセットリストの代わりにすべて のリグを表示することができます。

٩	Q	SETLISTS		NEW	
*	ALL RIGS				(14)
•••	GIG 1/24 2ND	SET			(12)
•••	GIG 7/3				(8)
	RECORDING 4	/2			(4)
•••	JAM 2/1				(6)
••••	GIG 1/24 1ST	SET	(10)		Î
•••	JAM 1/19				
••••	REHEARSAL 5	5/11			(10)

セットリストをエディットするには、左側の「●●●」ボタンをタップし、鉛筆アイコンをタップ します。セットリストを作成する時に使用したものと同じ画面が表示されます。この画面では、 エディットや保存が可能です。

セットリストを削除するには、左側の「●●●」ボタンをタップし、ごみ箱アイコンをタップしま す。削除を確定する場合は"Yes"をタップし、削除せずにセットリスト画面に戻るには、 Cancel をタップします。

ハンズフリーモードを終了するには、フットスイッチ3を長押しします。

ハンズフリー・モード

ハンズフリーモードでは、フットスイッチやのエ クスプレッション・ペダルだけでモデルの設定を 調整できます。

- ハンズフリーモードに入るには、フットスイッチ 1 を長押ししてモード選択画面を開き、再度フッ トスイッチ1を長押しします。
- 表示された値を変更するには、エクスプレッショ ン・ペダルを動かします。
- 表示された値を少しづつ減らして調節するには、 フットスイッチ1と2(▽)を同時に押します。
- 表示された値を少しづつ増やして調節するには、 フットスイッチ2と3(△)を同時に押します。
- **リグ内の1 つ次のモデルを編集する**には、フット スイッチ1を押します。
- **リグ内の1 つ前のモデルを編集する**には、フット スイッチ1を長押しします。
- 表示されたモデルの 1 つ次のパラメーターにアク セスするには、フットスイッチ2を押します。
- 表示されたモデルの 1 つ前のパラメーターにアク セスするには、フットスイッチ 2 を長押ししま す。

ハンズフリーモードを終了するには、フットスイッチ3を長押しします。





チューナー/テンポ

Tuner/Tempo ページを使うと、ギターをチュー ニングし、タイムベースのエフェクトのテンポを 設定することができます。

Tuner/Tempo モードに入るには、フットスイッ チ3を長押しします。Tuner/Tempo モードで は、右の画面が表示されます。

チューナーの基準ピッチを変更するには、 パラメーターをタップしてエンコーダーを 回します。



チューニング中に信号のミュートを解除するには、 フットスイッチ1を押します。

フットスイッチをタップしてテンポを入力する(Tap Tempo)には、設定したいテンポで フットスイッチ2を3~8回押し、テンポを拍数(BPM)で設定します。

このページを終了するには、フットスイッチ3を押します。

ヒント:Tap Tempo 機能は、 ハードウェア・アサイン画面でリグ内のフットスイッチにアサイ ンすることもできます。

ルーパー

MX5 には、演奏を重ねる用途で使用可能なルーパーが内蔵されています。ルーパーの操作はディス プレイに表示されますが、ルーパーの機能のほとんどはフットスイッチで操作をすることが可能です。 ルーパーでは、1つのループに計 **20 分間**のオーディオを録音/保存することができます。

1つの**ルーパーレイヤー**に録音できるオーディオの長さは最大**5分**までです。

1つの**ループ**で重ねることのできるルーパーレイヤーの数は最大**50レイヤー**までですが、 この数は、1つの**ルーパーレイヤーに**使用したオーディオの長さにより異なります。

例:すべてが5分間のルーパーレイヤーを重ねていった場合(5分x4レイヤー=20分) すべてが24秒間のルーパーレイヤーを重ねていった場合(24秒x50レイヤー=20分)



ループの最初のレイヤーを録音するには Record をアサインしたフットスイッチを押します。 すぐに録音が始まり、フットスイッチのインジケーターが**赤く**点灯します。Record をアサイン したフットスイッチをもう一度押すと、録音が停止し、ループ再生が開始します。フットスイッ チは Overdub となり、フットスイッチ・インジケーターは黄色くなります。

追加のレイヤーをループに重ねて録音するには、Overdub をアサインしたフットスイッチを押 します。オーバーダビングがすぐに始まり、フットスイッチ・インジケーターが赤く点灯します。 オーバーダビングを停止して再生を続けるには Overdub をアサインしたフットスイッチをもう 一度押します。

ループの一番上の(最後に追加した)**レイヤーを消去する**には、**Peel** をアサインしたフットスイ ッチを押します。ループの一番上のレイヤーはすぐに消去されます。このプロセスは破壊編集な ので、後から復元することはできません。

レイヤーしたループをすべて消去するには、Clear をアサインしたフットスイッチを長押しします。これにより再生は停止され、レイヤーしたループはすべて消去されます。このプロセスは破壊編集なので、後から復元することはできません。

ループの長さを半減または2倍にするには、Lengthフィールドの横にあるボタンをタップし、 エンコーダーを回します。半減したループの長さを2倍にすることで元のループとその内容を復 元できます。

ヒント:通常は演奏できなかった低音や超高音域を作成するときに使用します。

逆再生するには(リバース再生)、再生フィールドの横にあるボタンをタップし、エンコーダーを回します。

ヒント:レイヤーにフレーズを逆に録音してから、通常再生すると、個性的なエフェクト効果を かけたサウンドを作ることができます。

ルーパーの位置を設定するには、**再生**フィールドの横にあるボタンをタップし、**エンコーダー** を回して信号チェーンの前(**Pre**)または後(**Post**)に配置します。ルーパーを**Pre**ポジション に動かすと、同じリフを何度も繰り返し再生する必要なく、リグを編集できます

ルーパーを終了してメイン画面に戻るには、**Exit** をアサインしたフットスイッチを押します。 ルーパーが再生されている場合は、再生が継続されます。

Looper をアサインしたフットスイッチをもう一度押すだけでルーパーに再入力可能になります。

ヒント: この機能を使用してレイヤーごとに異なるエフェクト・セッティング(パラメーターの 調整、モデルの ON/OFF 等)を作成し異なった質感を加えることができます。ルーパーを使用し ながらリグを変更し、各レイヤーに異なるリグを使用する事も可能です。

Global Settings (グローバル設定)

グローバル設定を使用すれば、MX5 の全体的な セッティングを行うことができます。

> **グローバル設定を表示する**には画面右上にあ る「●●●」ボタンをタップし、 Global Setting をタップします。

> **グローバル設定の各ページを選択する**には、 画面右下にある番号をタップします。

GLOBAL SETTINGS 1 2 3 ●●●					
		USB AUDIO SETT	INGS		
LCD BRIGHTNESS		SAMPLE RATE	44.1 48.0	96.0	
AUDIO CONFIGURATI	ON		_		
RIG INPUT		USB AUDIO	OFF		
MAIN OUT LEVEL	LINE AMP	PEDAL CONFIGU	RATION		
FX-RETURN LEVEL	RACK STOMP	EXTERNAL PED	AL OFF		
	_	REMINDERS			
FX-LOOP STEREO		CONFIRM UNSA	VED OFF	ON	

LCD Brightness:メイン画面の明るさを設定します。このフィールドをタップしてエンコーダ ーを回し 1(暗)~5(明)を調整し、エンコーダーを押します。

オーディオ設定

- **Rig Input**: この設定は、各リグの入力信号が**ギター入力**(**Guitar**)から入力されるか、 左側(L)の**リターン入力**(**FX Ret L**)から入力されるかを決定します。 **Per Rig** に設 定すると、ソースは Input ブロックの各リグの **Rig input** 設定によって決定されます。 **FX Ret L**または **Per Rig** に設定すると、**FX-Loop Stereo Return** 設定は OFF になり、 信号はモノラルになります。
- Main Out Level:メイン出力 (1/4インチ/6.35 mm、TRS) に送信される信号レベルを 設定します。Line に設定すると、出力レベルは+18 dBu になります。MX5 をフルレン ジのフラットレスポンスアンプ、PA スピーカー、ミキサー、オーディオインターフェー スのいずれかに接続する際はこの設定にしてください。Amp に設定すると、出力レベル は+6 dBu になります。MX5 を往来のギターアンプに接続する際は、この設定にしてく ださい。
- FX Return Level: FX リターン入力(1/4 インチ/6.35 mm、TRS)で受信する信号レベ ルを設定します。Rack に設定すると、出力レベルは+18 dBu になります。MX 5 の FX-Loop にラック・エフェクト・プロセッサーを接続している場合はこの設定をご利用くだ さい。Stomp に設定すると、出力レベルは+6 dBu になります。FX-Loop に従来のギタ ー・ペダル(ストンプ・ボックス)を接続する場合は、この設定を利用します。
- FX-Loop Stereo:エフェクトループで入出力する信号レベルをステレオかモノラルに設 定します。Send 出力でのステレオ信号 ON/OFF を切り替えるには Send をタップし、 Return 入力でのステレオ信号 ON/OFF を切り替えるには Return をタップします。

USB オーディオ設定:

注意:DAW の設定方法については、<u>http://www.headrushfx.jp</u>にある完全版ユーザーガイド をご覧ください。 Windows ユーザーへの注意:Headrush MX5 をコンピュータに接続する前に、 headrushfx.com/support から必要なドライバをダウンロードし、インストールしてください。

Sample Rate: USB オーディオ信号のサンプルレートを 44.1kHz、48.0kHz、または 96.0kHz から選択することができます。DAW のサンプルレートと同じサンプルレート を選択します。また、DAW を開く前に設定します。

- USB Audio: MX5がUSB 接続経由でUSBオーディオを送信するかどうかを設定します。 On をタップすると、選択したサンプルレートで USB オーディオを送信します。Off を タップするとUSBオーディオ信号は無効になります(サンプルレートを変更するには、ま ず USB オーディオをオフにし、正しいサンプルレートを選択した後に USB オーディオ をオンに戻してから DAW を再起動させてください)。
- USB Mode: MX5 が USB 接続からどのようにオーディオ信号を送信するか、また出力が どのように機能するかを設定します。:
 - Live:オーディオ信号は、MX5の出力と同じものがコンピュータに送られます。
 - DAW:オーディオ信号はコンピュータのみに送信されます。MX5 の出力は、モニター中のレイテンシーを防ぐために無効になります。
 - Reamp:お使いのコンピュータから MX5 にオーディオ信号を送り、現在のリグ を使用して処理をした後にコンピュータに戻します。MX5 の出力は、モニター 中のレイテンシーを防ぐために無効になります。

ペダルの設定

External Pedal:外部エクスプレッションペダルを使用するかどうかを決定します。

- ON をタップすると内蔵エクスプレッション・ペダルはバンク A のパラメーターをコントロールし、外部エクスプレッション・ペダルは、バンク B をコントロールします (エクスプレッション・ペダルのクラシック・モードを使用している場合、トゥース イッチを押すとパラメーターの ON/OFF を切り替えることができます、アドバンス・ モードを使用している場合、トゥースイッチが無効になります)。
- OFF をタップすると外部エクスプレッション・ペダル入力が OFF になり、内蔵エク スプレッション・ペダルのみの使用が可能になります。

リマインダー

未保存の確認:この設定は、未保存の変更がある間に リグを変更すると、確認メッセージを表示すべきどう かを設定します。 メッセージを有効にするには ON を、 無効にするには OFF をタップするか、Do not show this dialog again (このダイアログを以後表示しない) をタップします。



MIDI セッティング: MX5 が外部デバイスとの間で MIDI 情報 を送受信する方法を設定します。この設定は、MX5 の MIDI 入 出力にのみ影響します。

MIDI Thru: On をタップすると、MIDI 出力が MIDI スル ーとして機能します。; MX5 の MIDI 入力に送られた MIDI 情報を、直接 MIDI 出力(スルー)に送ります。MX5 の MIDI 出力を正しく機能させたい場合は OFF をタッ プします。MX5 は MIDI 出力から、独自の MIDI 情報の みを送信します。



- Recv MIDI Clock: On をタップすると、MX5 が MIDI クロック情報を受信するようにな ります。"OFF"をタップすると、 MX5 の内蔵 MIDI クロックを使用します。これは外部 に送信できません。
- Prog Change: Send をタップして MX5 の MIDI プログラムチェンジ・メッセージの送 信の ON/OFF を切り替えます。Recv をタップすると、外部 MID デバイスからの MIDI プログラムチェンジ・メッセージ受信の ON/OFF を切り替えます。

MIDI Channel: MX5 が MIDI メッセージを送受信する MIDI チャンネルを設定します。こ のフィールドをタップしてエンコーダーを回してチャンネル 1~16、または Omni(すべ て)を選択し、エンコーダーを押します。

アサイン:

Auto Assign:モデルがどのようにスイッチにアサインされるかを決定します。モデルをロードする時に使用可能なスイッチに自動的にモデルをアサインするには"ON"をタップしてください。モデルをスイッチにアサインせずにロードする場合、"OFF"をタップしてください。その場合、**ハードウェア・アサイン**画面で手動でアサインする必要があります。

Color Mod :

MX5 のディスプレイで特定の色を区別できない場合や、配色をさらにカスタマイズしたい場合"color mod"パラメータを用いてカラーの設定を調整できます。 調整中、その調整内容がリア ルタイムで表示されます。APPLY TO LED を ON にすると、カスタマイズした配色がフットス イッチインジケーターにもすぐに反映されます。

以下の設定がデフォルトの配色です。 **Depth**: 0% **Color**: 36 DEG **Spread**: 180 DEG

注意: Color Mod 機能は Screen Lock 機能が ON になっているときには使用できません。

LOOPER REMAINING TIME :

MX5の本体ストレージに保存可能なループの残り時間を表示するメーターです。

グローバル EQ:

ページ 3 のこれらの設定は、出力にイコライゼーションが適 用されるかどうかを設定します。 このイコライザーは4バン ド・パラメトリック・イコライザーです。

ヒント: これらの設定は、会場が、元々プリセットを作成した場所とは異なる音響特性を持っている場合(例:会場がブーミー、防音対策が施されたリハスタの音響がハイ寄りなど)に有効です。 このページでは、**すべての**プリセットに永久保存することなく、追加イコライゼーションをすばやく適用する方法を説明します。

4		GLO	BAL S	ETTINGS	
GLOBAL EQ EQ ON LEVEL		0FF 0.0	ON dB	ALT RIG FOOTSWITCH 4 RIGS / NO HOLD	OFF ON
LOW BAND		SHELF		DEPTH	
HIGH BAN		SHELF			36 DEG
				SPREAD	180 DEG
LOW MID				APPLY TO LED	OFF ON
HIGH MID				THIS PRODUCT INCORPORATIS SOF PLEASE VIST ATTR/VINIE IN ADD 0 2010 IMMUSIC BRANCS, INC	TWARE USED UNDER LICENSE. JOHTE COMPRESSIONED
HIGH	5000 Hz				
				2	

EQ On: 出力のイコライゼーションが有効(On)または無効(Off)かどうかを設定します。

- **Level**:出力のオーディオ信号レベルをブーストまたはカットするかどうかを設定します。 この値は、**マスター**ノブで設定したレベルに適用されます。
- Low Band&High Band:最低周波数帯域(ローバンド)と最高周波数帯域(ハイバンド) に適用されるイコライゼーションのタイプ(シェルフまたはカット)を設定します。
- Low、Low Mid、High&High Mid:これらの周波数帯のそれぞれの3つの設定によって、 等化の形状が決まります。
 - 第 1 設定(Hz)は、低周波数帯域、低中周波数帯域、高周波数帯域、高中周波数帯 域の中心周波数を設定します。

第2設定(dB)は、イコライザが対応する周波数帯域で信号をどれだけブーストまたはカットするかを設定します。

送受信と設定

標準の USB ケーブルを使用して MX5 の USB ポー トとコンピュータを接続すると、デジタル・オーデ ィオ信号を送受信できるようになります。また、こ の接続では、リグ、セッティングリスト、モデルプ リセット、ループ、インパルスレスポンス(IR)ファ イルをインポート/エクスポートすることもできる ようになります。

変更を加える前に、ファイルのバックアップをコン ピュータ上に作成しておくことをお勧めします。



注意:

送受信中やインポート/エクスポート中は、MX5の電源を切らないでください。

サポートされていないファイル形式のファイルはすべて無視されます。

zip 形式、archivezip 形式のフォルダを送受信することはできません。サポートされている形式 のフォルダを送受信します。

リグ、セッティングリスト、モデルプリセット、ループ、インパルスレスポンス(IR)ファイル は、MX5のドライブ上で表示が同じになるようにコンピュータ上で整理しておくことをお勧め します。

MX5 とコンピュータとの間でファイルを送受信するには:

- 1. 標準の USB ケーブルを使用して USB ポートとコンピュータを接続します。
- 2. コンピュータの電源が入った状態で、MX5の電源スイッチを押し、電源を入れます。
- 3. 画面右上の「•••」ボタンを押し、Global Settings をタップします。
- Global Settings 画面右上の●●●・ボタンを押し、USB Transfer をタップします。コンピュ ータ上に MX5 が HeadRush というストレージデバイス名で表示されます。

Windows ユーザーの場合:初めて MX5 とコンピュータを接続する場合は、Windows ド ライバーのインストールを先に完了させなければ行けない場合があります。

- HeadRush ドライブを開きます。これで HeadRush ドライブとコンピュータの間でコンテ ンツをクリックしてドラッグすることができるようになりました。 HeadRush の内容に変 更を加えると即時に反映され、UNDO はできないのでご注意ください。
- 6. **注意:**コンテンツの転送が終了したら、コンピュータから Headrush ドライブを安全に取り出します。

 ドライブを取り出したら、MX5 で Sync を タップして、HeadRush ドライブの内容に加 えた変更を実行します。ドライブを取り出し たことを確認するメッセージが表示されます ので、Proceed をタップして続行するか、 Cancel をタップしてコンピュータ上のファ イルへのアクセスを続行します。

MX5 上でファイルの分析とインポートが開 始すると、ディスプレイのメーターに進行状 況が表示されます。

PLEASE CONFIRM THAT YOUR HEADRUSH DEVICE HAS BEEN EJECTED FROM YOUR COMPUTER AND THEN PRESS SYNC. IF YOU WOULD LIKE TO CONTINUE ACCESSING FILES ON YOUR						
CAI	COMPUTER PRESS CANCEL CANCEL PROCEED					
	CANC	EL	PROCEED			

このプロセスが完了すると、再び通常のグローバル設定画面が表示されます。 同期中は、MX5の電源を切らないでください。

ファームウェア・アップデート

- MX5のUSBポートとコンピュータを接続し、コンピュータの電源が入った状態で MX5の電源を入れます。
- 2. MX5 画面右上の•••ボタンを押し、Global Settings をタップします。
- 3. Global Settings 画面右上の●●●●ボタンを押し、**Firmware Update** をタップし、**OK** をタップして続行します。再起動後、画面の下端に **Update** と表示されます。
- ご使用のコンピュータ(Mac/PC)で HeadRush Updater アプリケーションを開きます。最新の HeadRush Updater アプリケーションは headrushfx.com からダウンロードしてください。
- HeadRush Updater アプリケーションのウィンドウが開いたら Update HeadRush をクリックします。アップデート中は、MX5 の電源を切らないでください。
- アップデートが完了すると、Updater アプリケーションウインドウに Done と表示 されます。Done をクリックして Updater アプリケーションウィンドウを閉じる と、MX5 が再起動します。
- 再起動が完了したら、画面右上の●●●ボタンを押し、Global Settings をタップして ファームウェアが最新のものにアップデートされたことを確認しましょう。ファーム ウェア・ヴァージョンは画面下に表示されます。

付録

技術仕様

フットスイッチ	(3) footswitches with color LEDs			
ノブ	(1) 300° master volume knob			
	(1) 360 havigation/data encoder			
ディスプレイ	(1) full-color LED-backlit display with touch interface			
	4" / 102 mm (dia	agonal)		
コネクター	(1) 1/4" (6.35 m	m) mono input (guitar)		
	(1) 1/4" (6.35 m	m) TRS input (expression pedal)		
	(1) 1/4" (6.35 m	m) stereo output (send)		
	(1) 1/4" (6.35 m	m) stereo input (return)		
	(2) 1/4" (6.35 m	m) balanced output (main)		
	(1) 1/8" (3.5 mm	n) stereo output (headphones)		
	(1) 1/8" (3.5 mm	n) stereo input (auxiliary device)		
	(1) 1/8" (3.5 mm	n) MIDI output		
	(1) 1/8" (3.5 mm	n) MIDI input		
	(1) USB Type-B	port		
	(1) DC power ad	apter input		
電源	Connection	DC power adapter input		
	Input Voltage	12 VDC, 3.0 A, center-positive		
サイズ (W × D × H)	295 x 150 x 70 i	mm		
重量	約 1.57 kg			

※仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

HeadRush は、米国および他の国々で登録された inMusic Brands、Inc.の商標です。

Avid および Eleven は、米国およびその他の国における Avid Technology、Inc.の商標または登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものです。

headrushfx.com